

# 海に見える電車

両親の別居のため、大阪市内に引越してきたのが小学三年の二期期だったのだが、それまでは電車といえば南海しか知らずに育った。小学一年の二期期までは南海高野線の堺東駅の近くの住宅地に住んでいて、それから南海本線の鳥取ノ荘駅と箱作駅の間に住んでいた。堺東が最寄り駅だった頃の路線の駅の方が実は近かったりもしたのだが、親があんなに南海ばかり使っていたのは、祖父母の家がやはり南海高野線の沿線にあったからかもしれない。その後も、たまに地下鉄に乗るくらいだったので、高校を出るくらいまでは知っている電車は南海しかなかった

た。南海があまりに生活に根付いていたので、改めて民鉄であると確認すると、ちよつと不思議な気分になる。それから三十年以上が経過した今ですら、「電車」と言うと、子供の時に車窓から見えていた海のことを思い出す。あれはたぶん、樽井のあたりの海だ。もしくは、家の近所にあった田んぼの近くを通る線路と踏切のことを思い出す。鳥取ノ荘と箱作の間に住んでいた頃は、なぜか羽倉崎とそれより先に世界が分かれているように感じていた。おそらくは、泉佐野に行くには尾崎から急行に乗り換えるけれども、羽倉崎までは普通で行くからそこまでは近いように感じていたのだと思う。小

学校低学年のわたしには、急行が停まる駅Ⅱ都会で、停まらない駅Ⅱそうではない、だったのだと思う。尾崎は都会だったが、自転車で行けたのでそういう認識ではなかった。当時の国鉄の駅も、家の近くにあるにはあったけれども（おそらく和泉鳥取）、バスに乗って駅に行くよりは、自転車で鳥取ノ荘に行くのが断然近かったのだらうと思う。海に見える集合住宅に住んでいたわたしにとっては、国鉄は山際を通る遠いもので、南海は海の近くを通る身近なものだった。子供の頃に騒がれた印象のある国鉄の民営化も、わたしにはよくわからないことだった。南海で行けるところ

津村記久子



イラスト・岡林玲

# みんな てと

CONTENTS  
Vol.  
**67**  
2018

◎日本民営鉄道協会とは？  
昭和42年に社団法人として設立、平成24年4月1日付で一般社団法人に移行、72社の民営鉄道会社で組織されています。  
輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。  
なお、JR各社や公営地下鉄などは加入していません。

までが世界だった。  
母方の祖父母が大阪市内に住んでいた  
たので、遠出と言えば基本的には難波  
方面に出ることだったのだが、和歌山  
方面の電車に乗ることもあった。箱作  
や淡輪の海水浴場に泳ぎに行ったり、  
みさき公園で遊ばせてもらったり、紀  
ノ川にみかん狩りに行ったりした。和  
歌山市はやはり他県だし遠いところと  
いう認識で、電車で行ったのは一度だ  
けだった。駅から和歌山城が見えた、

ような気がする、ぐらいいしか記憶がな  
い。

八月の終わりに、南海に乗って和歌  
山に行くことにした。子供の頃の印象  
も相まって、今住んでいる大阪府から  
はすごく遠いと思いきんでいたのだ  
が、特急サザンに乗れば一時間ぐら  
いで行けることにやっと気が付いたの  
だった。京都よりも近い。今の自分の  
目では、和歌山がどんなふうに見える  
のだろうかと静かに楽しみにしている。

## つむらぎくひ

作家。大阪府生まれ。2005年「マンイーター」(単行本  
化にあたり「君は永遠にそいつらより若い」に改題)で第  
21回太宰治賞を受賞しデビュー。08年「ミュージック・プレ  
ス・ユー!!」で第30回野間文芸新人賞、09年「ボトスライ  
ムの舟」で第140回芥川賞、11年「アーカース・ダイジェ  
スト」で第28回織田作之助賞、13年「給水塔と亀」で第39  
回川端康成文学賞、16年「この世にたやすしい仕事はない」  
で第66回芸術選奨文部科学大臣新人賞、17年「浮遊霊ブラ  
ジル」で第27回紫式部文学賞を受賞。著書に「カソウスキ  
の行方」「ボリス」「エウリシキング・フロウズ」ほか多数  
近著に「デイズ・イス・ザ・デイ」がある。

## 02 四つの季節の鉄道ものがたり 秋 海の見える電車

◎作家 津村記久子

## 特集／鉄道産業文化遺産の保存と活用

「地域の観光活力を創出するー東武鉄道SL「大樹」

### TOP INTERVIEW

## 04 鉄道事業者の協力、地域との連携を糧に 鉄道技術を活かし、 地域の活性化を図る

◎東武鉄道株式会社 常務執行役員 鉄道事業本部長 都筑豊

### COLLABORATION MAP

## 08 SL「大樹」復活運転

日光・鬼怒川エリアに結集した  
鉄道事業者の技術と想

### REPORT. I

## 10 鉄道産業文化遺産を守る SL「大樹」プロジェクト

- ◎鉄道事業本部 SL事業推進プロジェクト 部長 浜田晋一
- ◎鉄道事業本部 車両部 車両企画課 課長補佐 関山之郭
- ◎鉄道事業本部 運輸部 管理課長 小川幸男

## COLUMN

## 15 SL事業者同士が連携、運転技術を次世代に伝える

◎秩父鉄道株式会社 機関士・指導助役 千代田昌巳

◎秩父鉄道株式会社 機関士見習(東武鉄道より出向中) 田島伸一

## 18 日光・鬼怒川エリアの 観光活力を創出する

◎経営企画本部長 岩澤貞裕

◎一般社団法人日光市観光協会 事業課長 舟越隆裕

◎一般社団法人日光市観光協会 事業課 観光アレンダント 福田結

みんてつ探訪

## 24 東武鉄道 下今市機関区

密着レポート!

## SL「大樹」1号が出発するまで

## 28 熊本電気鉄道株式会社

◎連載 地方民鉄紀行

◎連載 大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界

## 30 高崎市

◎元首都大学東京非常勤講師 藤本一美

